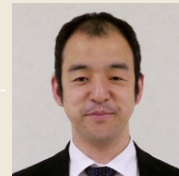


長崎県

長崎女子商業高等学校

高尾耕多先生



高3

+英語部 (クラブ活動)

即興スピーキング!

タスクが豊富で、飽きずに発話トレーニングできる!

英検二次のスピーキング・テストに対応するには日ごとの訓練が必要と考え、『即興スピーキング!』を採用することにしました。イラスト描写や、付録カードを用いたペアワークなど、活動内容が豊富で、飽きることなく練習ができ、効果的です。

授業の流れですが、例えばスピーチの場合、まずはテキストのサンプルを参考にノートに原稿を書かせます。次に練習をしますが、定着を図るため、CDを活用させたり、ペアワークをさせたりしながら、2・3コマ目も短時間、同じ練習を繰り返します。1コマ目ではノートを見ながら話していた生徒も、3コマ目にはノートを見ずに即興で話せるようになります。自学では、授業とは違うトピックでスピーチ原稿を書かせ、提出させるなどしています。教材には豊富なタスクとその手順が載っているので、テキスト通り進めればよく、とても便利です。また、書いた英語を“自分のもの”とするために、それを暗唱することを義務付けています。さらにスピーチ以外の場合も、質問の答えを考え、それを暗唱するよう指示しています。

今後はこの教材を徹底的に活用し、効果的なアクティビティーに関しては2回、3回と練習を繰り返すことで、生徒の表現力を高めることができると考えています。

① 最も指導に役立ったこと

スピーキング活動のための補助プリントを用意する必要がなくなった

教材の使用方法について

○ 授業と自学で使用

週に1回、「コミュニケーション英語Ⅱ」の授業で約30分間使用

テストの実施方法について

○ 1回の範囲、問題数

授業中、ペアワークなどの時間で教師が順に確認

○ 問題の種類

スピーチ (あらかじめ書いてきた原稿を暗唱し発表)、スピーキング・テスト (インタビュー形式で質問し、即興で2文以上の英語で答える)

2017年6月現在